

静岡県のがん検診と特定 健診の受診率向上のための の取組み

静岡県健康福祉部健康増進課

土屋 厚子



☆静岡県

【平成21年10月1日現在】

- 人口 3,787,982人
- 市町数 37市町(H22→35市町)
- 医療保険者数 97ヶ所 (H22→95ヶ所)
-

H21特定健診実施状況(速報値)

22. 5月現在健康増進課調査

※確定値ではありません

医療保険者名 (回答数/保険者数)		特定健診		
		実施者数	受診率	目標率
市町国保(35/35)	被保険者	209,528	28.2%	39.4%
国保組合(5/5)	被保険者	6,691	33.6%	48.9%
健康保険組合 (47/50)	被保険者	119,434	84.6%	85.5%
	被扶養者	19,124	32.4%	37.5%
	計	138,558	69.3%	70.8%
全国健康保険 協会(1/1)	被保険者	132,879	41.0%	42.5%
	被扶養者	12,279	12.4%	47.5%
	計	145,158	34.3%	43.7%
共済組合 (4[4])	被保険者	34,612	72.1%	96.3%
	被扶養者	6,504	39.0%	43.9%
	計	41,116	63.6%	81.3%
計(92/95)		541,051	37.3%	47.1% ³

平成20年度がん検診実施状況

(地域保健・健康増進事業報告)

静岡県

全国

●			
●	胃がん	14.7%	10.2%
●	肺がん	33.8%	17.8%
●	大腸がん	21.6%	16.1%
●	子宮がん	26.1%	19.4%
●	乳がん	16.8%	14.7%

実態調査で明らかになった課題 健康保険組合等の課題と問題点

【実施体制や被扶養者関係】

- ・がん検診と同一日に受診したい希望が多い
- ・健診機関が満員で予約がとりづらい
- ・費用と人員(保健指導の担当者)が不足
- ・被扶養者の健診に対するニーズ把握が難しい
- ・被扶養者の受診率アップ
- ・特定保健指導の中断者への対策

平成22年度の取組み

(1) いつでも、どこでも、誰でも受診できるための健診体制整備と民間企業と連携した啓発

○がん検診と特定健診の同時実施の促進モデル構築事業(新規)

本県は、全国的にみて特定健診・がん検診の同時実施の取組が遅れているため、健康福祉センターを中心として、市町・検診機関等と連携し、検診形態別の実施体制モデルを構築する。

○がん検診受診率向上のための企業・団体との協定締結

多くの県民と接する機会の多い企業・団体と県が協定を締結し、企業・団体の外交員や店舗の窓口などで、企業・団体が直接県民にがん検診の受診啓発を行う。⁶

がん検診受診率向上のための企業・団体との協定締結

(1) 業 種

農協、銀行、生保、損保、鉄道、小売、その他
合計20社・団体

(2) 期待される効果

○啓発チャンネルの多様化

県、市町十企業等

○啓発の個別化

企業の外交員等による直接の啓発

○啓発の重点化

女性—小売、銀行等

1次産業従事者—農協

業種	数	企 業 名
農協	1	静岡県農業協同組合中央会
銀行	4	静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、 静岡信用金庫
生保	3	アフラック、東京海上日動あんしん生 命、損保ジャパンひまわり生命
損保	2	東京海上日動火災、損害保険ジャパン
鉄道	1	遠州鉄道
小売	6	CFSコーポレーション、イオンリテー ル、杏林堂薬局、ビッグ富士、 ユニー、静鉄ストア
その他	3	沼津法人会、SBSプロモーション、 ユーライフ
合計20社・団体		



☆企業、団体のがん検診受診促進に関する啓発活動

- 文化講演会の開催
- 乳がん触診モデルを店頭を設置
- 従業員向けの乳がん勉強会
- 医療機関と提携し、特別価格による法人会特別コースを設け、会員並びに従業員、家族へのがん検診を受けやすくする体制づくり
- 県が作成したリーフレット、のぼり旗の店頭配布及び設置

被扶養者の特定健診における課題

1. 周知不足

- ・お客様へ新制度の周知が不足
- ・実施機関側への周知が不足

2. 実施方法の複雑化

- ・保険者により実施方法が異なる。
- ・他の健診との関係整理

3. 委託契約単価

- ・集合契約A・B
- ・健診単価、電子化手数料、事務費（情報提供料）

4. 検査項目の不足

- ・がん検診との同時実施
- ・追加検診

関係機関・各保険者の連携が重要

1. 2に関しては各保険者での広報の工夫（わかりやすいチラシ作成、市の広報誌への掲載依頼等）を行っている。また、3については現在被用者保険者側と県医師会で調整中。

4のがん検診との同時実施については実施している市町がほとんどないため、被用者保険被扶養者は特定健診のみしか受診できず、魅力のない健診内容となっていることが受診動機を下げている一因となっている。従って、特定健診とがん検診を同時実施できる体制を構築していくことが最大の課題となっている。

がん検診と特定健診の同時実施体制のモデル事業

厚生労働省からの事務連絡により、静岡県疾病対策課と被用者保険側の代表である協会けんぽ静岡支部が調整してきましたが、各市区町でのがん検診実施方法がさまざまであること、被用者保険側の特定健診受診方法等についての情報が不足していることから、まずは、双方の実施機関情報の交換を行う方針である。

また、これに合わせて、がん検診と特定健診の同時実施を賀茂地区においてモデル的に行う。

モデル地区（賀茂圏域）の打ち合わせ状況

（健康福祉センター主催 1市5町と協会けんぽ、賀茂医師会、国保連参加）

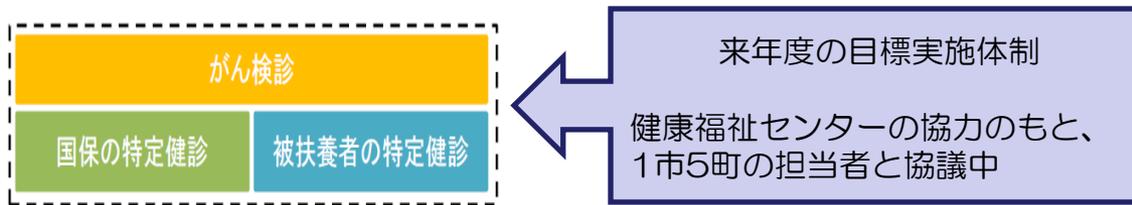
第1回	<ul style="list-style-type: none">・事業概要（目的等）について・現状の検診（健診）実施体制について・検診（健診）実施上の課題等について・当該事業の実施方針について
第2回	<p><検診（健診）同時実施体制の構築について></p> <ul style="list-style-type: none">・セット健診（胃・肺・大腸がん検診及び特定健診）の拡充について・市町特定健診、協会けんぽ被扶養者特定健診及び市町がん検診の同時実施の導入について・個別健診の導入に向けた課題の整理について
第3回 及び 第4回	<ul style="list-style-type: none">・先進地視察の結果について・平成23年度の検診（健診）実施体制について・検診（健診）実施上の課題等について・23年度の検診（健診）の実施体制について

特定健診とがん検診の同時実施体制の構築について

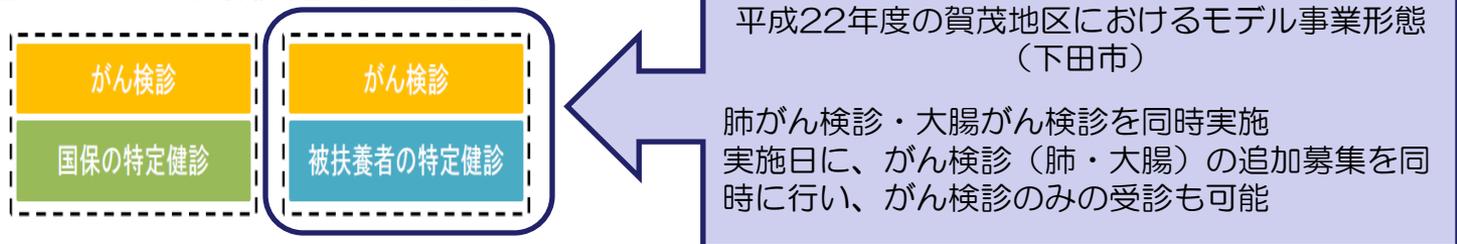
下記の表のような実施体制が考えられますが、各市区町国保、がん検診担当部署、委託健診

機関の協力、連携が必要です。

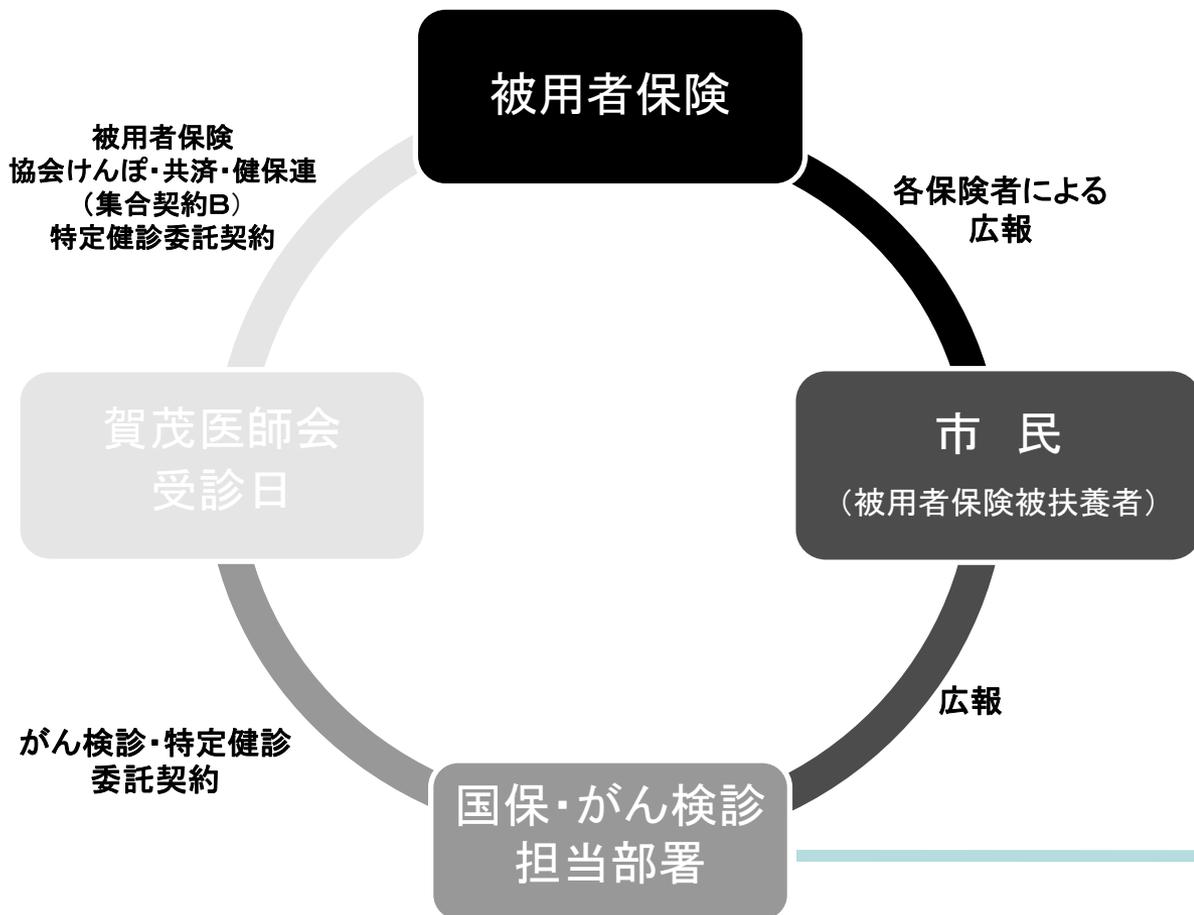
【例1】がん検診、国保の特定健診及び被扶養者の特定健診を同じ日時・会場に設定



【例2】国保の特定健診と被扶養者の特定健診の実施日や会場が異なる場合、がん検診をそれぞれの日時・会場で受診できるように設定



賀茂地区におけるモデル事業実施体制(案)



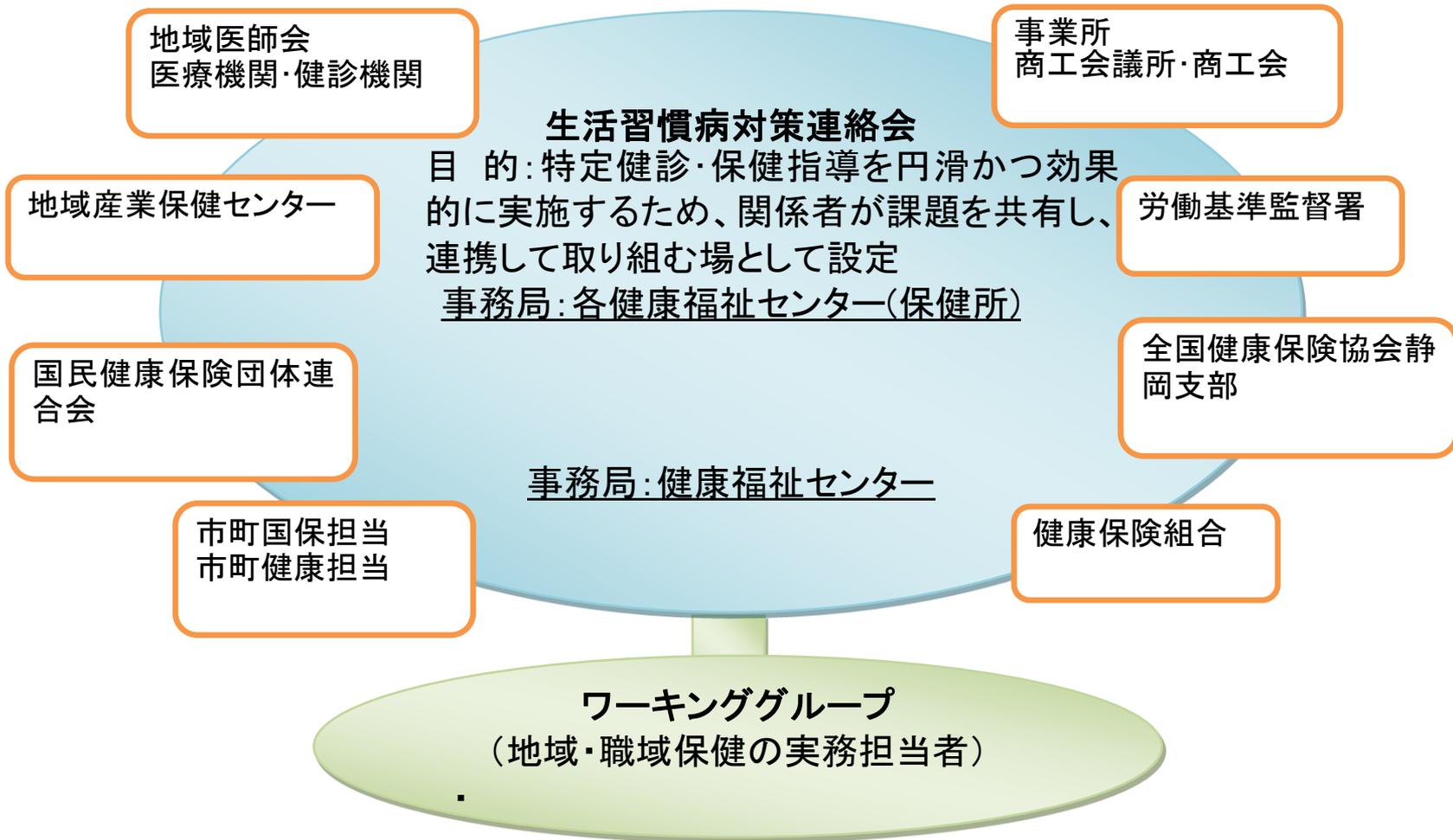
実施のポイント

- ・被用者保険の特定健診と国保特定健診、がん検診の契約をしている機関とが同一
- ・被用者保険側では、予約受診を広報済み
- ・被用者保険側は委託機関で保険証と受診券を確認し受診可
- ・国保の特定健診が同時実施できなかったため、結果通知のタイムラグ、自己負担額について問題が生じなかった。

課題

- ・当日の受付が混乱する
- ・自己負担額の格差
- ・結果通知票のタイムラグ
- ・会場使用料
- ・周知方法
- ・実施機関側（医師会）の了解

生活習慣病対策連絡会 (地域職域連携推進協議会)



健康福祉センター(保健所)の取組

- ①市町国保における健診・保健指導の効果的な実施に向け、他医療保険者における取組み状況や情報提供を行う。
- ②事業所における職場健診のデータが、特定健診の受診率に繋がることから、労働安全衛生法を所管している労働基準監督署に働きかけ、事業所健診の推進を図る。
- ③働き盛り世代の受診率を向上するため、中でも受診率が低い小規模事業所に焦点を当て、商工会議所等と連携を図る。

図24 内臓脂肪症候群該当者の標準化該当比（男性）

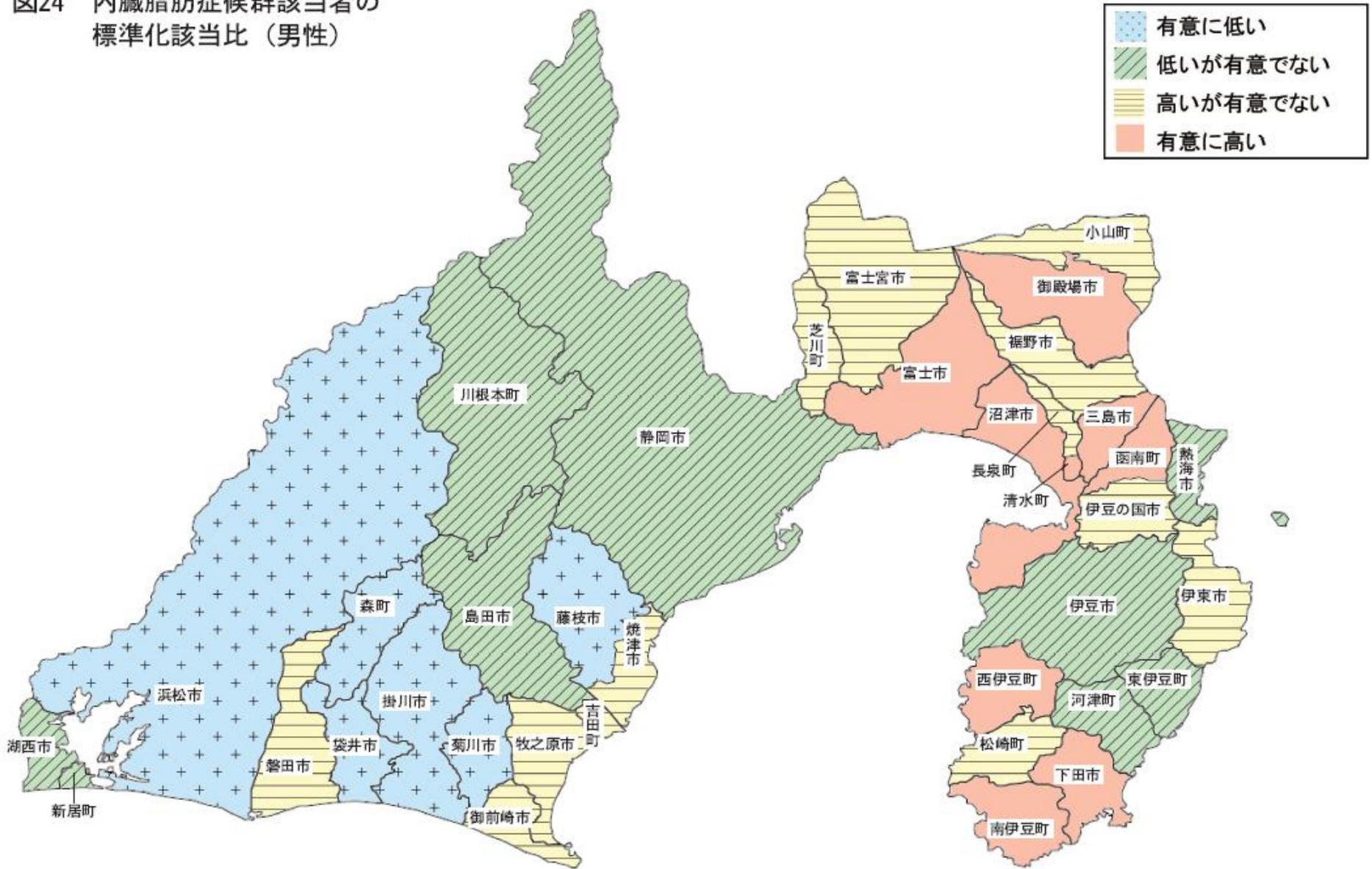
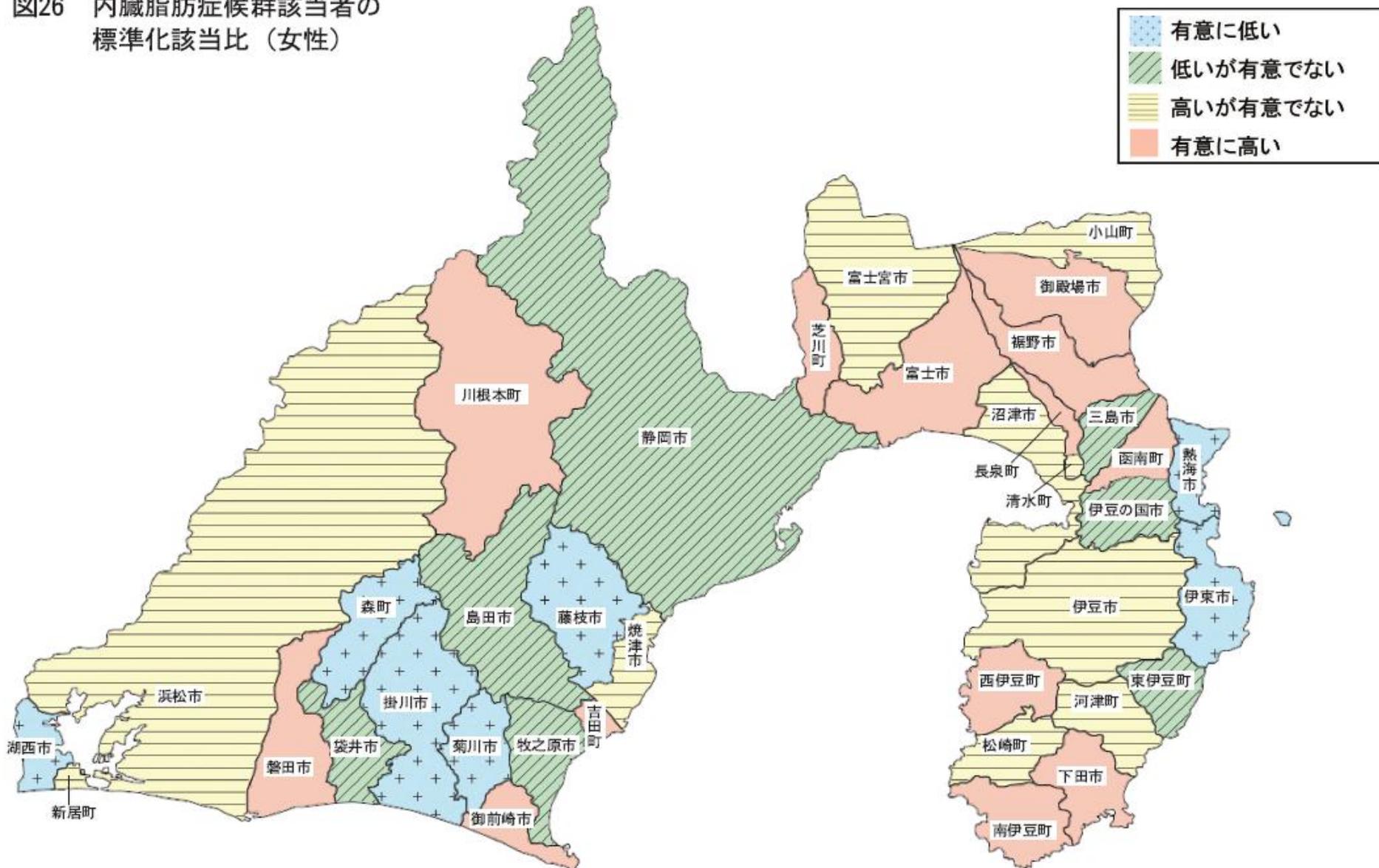


図26 内臓脂肪症候群該当者の標準化該当比（女性）



特定健診の事業評価

○未受診者対策で効果があった対策

- はがき等による再通知
- 追加の健診実施

○実施方法の工夫で効果があった対策

- 実施期間の延長
- 他検診との同時実施
- 土曜日の健診の実施

県の調整機能を利用しての啓発

- レシートでの啓発
- オートレース場やカラオケ店、日帰り温泉
- スーパーマーケットや薬局での店頭啓発
- 携帯サイトでの啓発
- 事業所への啓発

効果的な活動事例の収集

実態調査において「他の医療保険者の取組を教えてほしい」との声が、また特定健診等受診促進ワーキンググループでは「受診促進の取り組みはされているが、なかなか受診率が向上しない」ことが問題点として挙げられた。そこで、他の良い取り組みを参考にできるように、平成21年度には「ひとめでわかる静岡県の取り組みー特定健診、特定保健指導活動事例集」を作成した。

ふじのくに食育フェア2011 (第6回食育推進全国大会)

食のもてなし、知る・つくる・楽しむ
～ふじのくに食の都へようこそ～



生きがいと健康づくり
イメージキャラクター ちゃっぴー

とき

平成23年 6月18日(土)・19日(日)

入場無料

ところ

日本大学国際関係学部短期大学部(三島校舎) 他

※三島市文教町: JR三島駅北口から徒歩約10分

内容

- ・食に関する著名人による講演会、シンポジウム
- ・国、地方公共団体、関係団体等によるブース展示や農産物等販売
- ・県内のご当地グルメを集めたイベント

等

主催

内閣府、静岡県、三島市

ご清聴ありがとうございました。

